

登録コード	E8861400	開講年度	2026			
授業科目	卒業研究				担当教員	村松 浩幸
英文授業名	Graduation Study				副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	技術教育に関する公共的使命感や倫理観を基礎に, 課題に関する情報を取捨選択し, 分析・活用できるようになる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	技術教育に関する専門的知識・技能を基礎に, 課題に関する情報を取捨選択し, 分析・活用できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	技術教育の中で各自がテーマを定め, 研究を進めて論文としてまとめる。研究テーマに応じて教材開発や実践を行い, ゼミと分野内での複数の発表会を行う中で完成度を高めていく。					
(5)授業計画	○ 4 年次前期までの定期的なゼミ活動 ・研究活動の意味を理解するためのディスカッション ※全ての回で情報機器の活用を含む ・研究課題の設定に関するディスカッション ・研究方法(調査項目の作成方法, 調査・実験計画, データ分析・統計処理の方法等)の演習 ・先行研究の整理 ・分野内でのテーマ発表会(5月) ○ 4 年次後期における定期的なゼミ活動と個別指導 ・教材開発や調査の実施 ・データ分析 ・考察 ・研究室における中間発表会の実施(11月下旬) ・論文作成(1 月下旬)・抄録作成(1 月下旬) ・分野内での研究発表会(2月上旬)(含む授業アンケート)					
(6)成績評価の方法	各発表会での成果(30%), 論文の成果(50%), 研究の取り組み(20%)で総合して評価。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	課題および論文に対して, ①概要が適切に説明されている。②基礎的事項が科学的理論に基づいて説明されている。③理論と実際とが比較検討されている。④理論と実際との比較から問題点と課題が把握できている。⑤自分の見解を科学的理論に基づいて考察されている。 ・①～②項目までができていれば「水準にある」 ・①～③項目までができていれば「やや上にある」 ・①～④項目までができていれば「かなり上にある」 ・①～⑤項目までができていれば「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	事前学習および事後学習は, 毎回のゼミにおいて適宜提示する。なお, 60分以上の事前学習が必要である。また, 授業後は復習の課題や演習課題を共有し, 学習内容の定着をはかる。					
(9)履修上の注意	・技術科指導法基礎, 技術科教材論, 技術科教育演習を受講済みであること					
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	・研究室 木曜日 13:00～14:00 238-4175, muramatu@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	特になし					
【参考文献】	適宜指定する					